
君にくちづけ

一之瀬染子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君にくちづけ

【Nコード】

N4853I

【作者名】

一之瀬染子

【あらすじ】

ナタルは家庭教師を探して城の図書室の扉を開けた。

気持ち良さそうに眠る家庭教師の様子に引き込まれるようにしてゆつくりと顔を近づけて……。

扉を開けるとひんやりとした少しカビ臭い空気が鼻をついた。

ナタルはこの臭いが嫌いだった。長時間この臭いの中になると、体の中が汚染されてしまうような気がするからだ。それでもわざわざこの部屋を訪れたのは、

「……やっぱり」

本棚の向こう、やわらかな光が差し込む窓際の机で、窓ガラスに頭を預けてすやすよと気持ちよさそうに寝息をたてている青年を探すためだ。

名をレゴン・イエ・オラバリエ。彼女に歴史を教える立場である彼が授業の時間になっても現れない時は、たいていこの図書室で調べ物をしている。

今日こそは文句の一つも言つてやろうと意気込んでいたのに、相手が眠っているとわかって氣勢を削がれてしまった。

惘然としてレゴンの向かいの椅子に座る。

叩き起こせばいいのだろうか、なぜかそうしなかった。別に勉強が嫌いなわけではなく、むしろ将来国を背負って立つ身として学ぶべきものは山ほどあり、それを誇りにさえ感じている。

ただ、少し窮屈だった。

常に誰かが傍にいて一人になれない毎日を、十二の子供が息苦しく感じるのは仕方ないことだろう。

机に肘をつき、ぼんやりとレゴンの寝顔を見るともなしに眺めた。

もともとの童顔が無防備に眠っているとよけいに幼く見える。閉じた瞼を縁取る睫毛に光が当たって金色に輝いており、薄く開いた唇からはかすかに寝息が聞こえてくる。

吸い寄せられるように顔を近づけていたのに気付いたのは、吐息がかかるほどの距離になってからだ。

自分が何をしようとしているのか自覚したとたんに、どきどきと動悸が激しくなった。体を支える両手をぎゅっと握りしめる。

最後の距離を縮めようとしたとき、レゴンが僅かに身じろぎした。

弾かれたようにナタルは机から飛び降りた。その際、ドレスの裾が引つかかかって椅子が派手な音をたてる。

「あれ……、姫様？」

寝ぼけた様子でレゴンがゆっくり伸びをした。

その間も視線が唇にいくのを無理矢理逸らしたナタルは、頬が紅潮するのを自覚した。じり、と後退りをして、

「なんでもない！」

脱兎のごとく図書室を飛び出した。

廊下を走るナタルには、まだ自分の行動の理由がわからなかった。なんとなくわからない方がいい気がして、でも放置しておくのは居心地が悪くてどうしたらいいかわからなくて、気がつくまで泣いていた。

泣き顔を人に見られなくなかったため中庭の手近な繁みの影に座り込んだ。

ひとしきり泣いて落ち着いたころ、自分と呼ぶ声が聞こえて立ち上がった。

「すみませんでした。調べ物をしていたら時間の経つのを忘れて、講義をすっぽかしてしまつて」

図書室のナタルの行動を斟酌しているふうもなく、頭を下げる。いつもとかわらないレゴンの様子にちょっとがっかりしている自分に、ナタルは大きいため息を吐いた。

「……本当に。毎回探すのも大変なんだ」

「すみません」

小柄な体をさらに縮こまらせてレゴンが頭を下げた。ナタルの瞳が濡れているのに気づき、

「どうしたんです。どこか怪我をしたんですか？」

おろおろとハンカチを取り出した。しわくちゃで差し出すのを躊躇っているレゴンからハンカチを奪うように取り、これ見よがしに涙を拭き鼻をかむ。

「……はしたないですよ」

「うるさい。怪我なんてしていない。それと、これは洗って返す」
言うなり踵を返して走り出す。

「レゴンなんて大っ嫌いだ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4853i/>

君にくちづけ

2010年10月21日21時12分発行